

Jevを今日から使う 導入手順書

株式会社スターストリーム・スタジオ v1.0（2026年9月）

TypeSafe社のJev（ジェブ）を、本家の登録を待たずに今日から使うための手順書です。Vercel AI Gatewayでキーを作り、Claude Code（またはCodex）に公式スキルを入れて、日本語で頼むところまでを順番に載せています。Claude Codeは使っているが、Jevはまだ触ったことがない方を想定して書いています。

もくじ

1. Jevは何をするものか
 2. 用意するもの
 3. Vercelのアカウントを作る
 4. AI Gatewayでキーを作る
 5. カードを登録する
 6. 使いすぎない上限を決める
 7. キーを置いておく
 8. Claude Codeに公式スキルを入れる（4行）
 9. Codexに公式スキルを入れる（1行）
 10. 頼み方（そのまま貼れる文）
 11. 質問の書き方のコツ
 12. 詰まったときの直し方
 13. 料金の目安
-

1. Jevは何をするものか

Jevは、文章を書かずに「判定」だけを返すAIです。聞けるのは次の3つの形です。

- **Choice（どれか）**：選択肢から1つを選び、それぞれの確率を返す
- **Score（何段階か）**：順番のある段階のどこに当たるかを返す
- **Noul（何割か）**：はい・いいえの問いに、0～1の確率で答える

問い合わせの振り分け、口コミの仕分け、生成AIが書いた文章の条件チェックなど、「たくさんの文を、決まった基準で判定する」作業に向いています。文章を書くのは生成AI、判定するのはJev、と分けて使います。

本家（typesafe.ai）は2026年9月22日から新規登録を一時停止しています。この手順書では、同じJevを呼べるVercel AI Gatewayを使います。

2. 用意するもの

- Claude Code（またはCodex）が動くパソコン
- Googleアカウント（Vercelの登録に使うと早い）
- クレジットカード（Vercelで必須。登録すると毎月5ドル分の無料クレジットが付く）
- キーを保存するためのメモ帳

3. Vercelのアカウントを作る

1. vercel.com を開き、右上の「Sign Up」を押す
2. 「Continue with Google」を押して、Googleアカウントで登録する
3. プランは無料の「Hobby」のままでよい

4. AI Gatewayでキーを作る

1. 管理画面の左のメニューで「AI Gateway」を押す
2. 「Get Started with AI Gateway」の1「Create an API Key」で「Create Key」を押す
3. キーの名前はそのままよい。「Create API Key」を押す
4. 表示されたキーを、右のコピーのボタンで写し、メモ帳に貼って保存する
5. 「I've saved this key」を押して閉じる

キーは1回しか表示されません。閉じる前に必ず保存してください。人に見せない・スクショに写ったら隠す・会話に貼らない、の3つは守ること。

5. カードを登録する

1. 2「Add a Card」の「Add a Card」を押す
2. カード番号・有効期限・セキュリティコード・氏名・郵便番号を入れて「Continue」
3. 2に「Your team has already verified a card」と出れば完了

カードを登録しないと、キーを作っても「有効なクレジットカードが必要です」というエラーで止まります。無料期間でも必要です。

6. 使いすぎない上限を決める

1. 左のメニューで「Budgets & Spend」を開く
2. 右上の「Set Budget」を押す
3. 「Spend Limit」に上限の金額（例：3）を入れる
4. 「Refresh Period」は「Monthly」のまま
5. 「Email ... when usage reaches」で通知したい割合（例：75%）にチェック
6. 「Set Budget」を押し、画面の上が「\$0 / \$3」になれば完了

7. キーを置いておく

キーは、Claude Codeが読める場所のファイルに書いておきます。会話にキーの値を貼るより安全です。

1. メモ帳で新しいファイルを作り、次の1行を書く（`vck_` から始まる部分は自分のキー）

```
AI_GATEWAY_API_KEY=vck_ここに自分のキー
```

2. `vercel-ai-gateway.env` のような名前で保存する。Gitで管理しているフォルダには置かない
3. 保存した場所（フォルダのパス）を控えておく。10の頼み方で使う

8. Claude Codeに公式スキルを入れる（4行）

Claude Codeを立ち上げて、次の4行を1行ずつ貼り、そのたびにEnterを押します。

```
/plugin marketplace add typesafe-ai/skills  
/reload-plugins
```

```
/plugin install typesafe@typesafe-ai  
/reload-plugins
```

- 3行目で入れる場所を聞かれたら、いちばん上の「Install for you (user scope)」のままEnter
- 最後の行で「1 plugin・1 skill」と出れば完了
- Claude Codeを閉じて開き直す必要はありません

9. Codexに公式スキルを入れる（1行）

ターミナルで次の1行を打ちます。

```
npx skills add typesafe-ai/skills --skill typesafe-ai
```

入れたあとの頼み方は、Claude Codeと同じです。

10. 頼み方（そのまま貼れる文）

【】の中を自分の用途に書き換えて、Claude CodeやCodexに貼ります。【つなぎ方】の3行は、Vercelを使う限りそのまま使えます。

Jev の公式スキル（typesafe-ai）を使って、次の文を Jev で仕分けしてください。

【仕分けたい文】

（ここに問い合わせやメールの本文を貼る）

【聞きたいこと】

- ・ 種類はどれか（受講相談・制作依頼・その他のどれか）
- ・ すぐに対応が必要な急ぎの問い合わせか（確率で）

【つなぎ方】

本家の TypeSafe には登録していないので、Vercel AI Gateway 経由で呼んでください。

- ・ 接続先（base URL）： <https://ai-gateway.vercel.sh/typesafe>
- ・ モデル： typesafe-ai/jev
- ・ キー：（7で保存したファイルのパス）の AI_GATEWAY_API_KEY
（キーの値は画面に出さないでください）

結果は、答えと確率を日本語の表で見せてください。

たくさんの文をまとめて仕分けたいときは、【仕分けたい文】に「このフォルダの中のメールを全部」のように書けば、Claude Codeが1件ずつ呼んでくれます。

11. 質問の書き方のコツ

Jevは質問の文をそのまま読んで判定します。同じ問い合わせでも、「急ぎか」だけで聞いたときは75%、「すぐに対応が必要な急ぎの問い合わせか」と聞いたときは96%でした。

- 「何をもって、はいとするか」まで書く
- 選択肢は重ならないように分ける（「制作依頼」と「見積もり依頼」を並べると迷う）
- どれにも当たらないとき用に「その他」を入れておく
- Jevは英語を中心に学んだAIで、日本語は英語ほど得意ではないと公式に書かれています。短い日本語の問い合わせなら、私が試した範囲では迷いなく判定されました

12. 詰まったときの直し方

1. 「有効なクレジットカードが必要です」と出る

Vercelでカードを登録していません。5をやってから、同じキーでもう一度呼びます。

2. 「1 plugin・1 skill」と出ない

`/plugin install typesafe@typesafe-ai` を打つ前に、1行目の `/plugin marketplace add typesafe-ai/skills` が成功しているか確かめます。「Successfully added marketplace」と出ていれば成功です。

3. Claude Codeが本家に登録しようとする

【つなぎ方】の3行が抜けています。「本家には登録していない、Vercel経由で」と明記します。

4. キーが画面に出てしまった

Vercelの「API Keys」でそのキーを消し、作り直します。古いキーは使えなくなります。

5. 大きな文を送るとエラーになる

1回に送れる量には上限があります（1回あたり約6万4千トークン）。長い文は分けるか、判定に必要な部分だけを切り出して送ってください。

13. 料金の目安

- 本家の単価：入力100万トークンあたり0.042ドル。出力（返事）は無料
- Vercel：Jevは2026年9月25日まで無料と案内されている
- 実測：問い合わせ1通＋質問2つで入力483トークン。無料期間でなければ約0.00002ドル（約0.003円）
- Vercelの無料クレジット：カード登録で毎月5ドル分。Jevだけなら月に20万回以上の判定ができる計算

料金や提供状況は変わることがあります。最新の情報は、TypeSafe社とVercelの公式サイトで確かめてください。